

山梨大学医学部附属病院 [地域医療連携だより]

パートナー

2024

vol.18

令和6年8月発行

[特集] 診療科・部門のご紹介

脳神経外科／検査部

消化器内科／栄養管理部



山梨大学医学部附属病院 診療科・部門のご紹介

脳神経外科

Neurosurgery

当科は、昭和59年の開設以降、山梨県における脳神経外科診療の中心的な役割を果たしています。対象とする疾患は、脳卒中（くも膜下出血、脳出血、脳梗塞など）、脳腫瘍（神経膠腫、下垂体腺腫など）、脊椎脊髄疾患（脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニアなど）、頭部外傷、小児脳神経疾患および機能的神経疾患（三叉神経痛、てんかんなど）です。手術室には、術中高磁場3T-MRI、多関節型血管撮影装置、ナビゲーションシステム、4K（高解像度）内視鏡、術中CTなど最新の医療機器を整備しており、最先端の高難度治療を安全かつ確実に行っています。

脳卒中の迅速な治療を重視し、神経内科や循環器内科と連携して24時間体制の一次脳卒中センターコア施設と

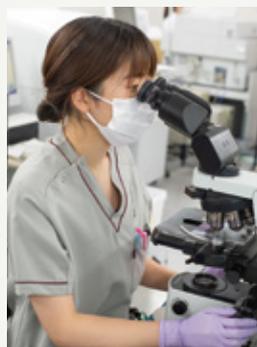
して機能しています。脳腫瘍については、手術から後療法まで一貫した診療体制を整えています。また、脊椎脊髄疾患やてんかん症例に対しては、脊椎・脊髄センターやてんかんセンターとして院内関連各科と連携し、最善の治療を提供しています。神経疾患のケアは急性期だけでなく、回復期や維持期にも及びますが、地域医療連携を通して県内多数の関連施設や回復期リハビリ施設と連携し、病期に応じた適切な治療を行っています。



検査部

Department
of
Clinical Laboratory

検査部は臨床の専門集団として、患者さんが適切な医療を受けられるように信頼性の高い臨床検査サービスを提供しており、臨床化学検査、免疫血清検査、血液検査、微生物検査、遺伝子検査、輸血検査、生理機能検査、中央採血室で構成されます。



その中でも臨床化学検査、免疫血清検査、血液検査は、診療前検査（診察時に当日の検査結果を提供）に対応した迅速検査システムを構築し、50項目に近い検査結果を受付後30分～1時間で報告しています。また、微生物検査でも365日稼働し、迅速な結果報告に努めています。輸血検査は、専任技師による日当直業務が開始され、夜間や休日でも迅速かつ安全で質の高い対応が可能となりました。生理機能検査は、心電

図、呼吸機能、脳波検査、超音波検査を中心に精度の高い検査を提供しており、診療科より高評価を受けています。各検査分野のスペシャリストの育成を推進した結果、認定資格取得者も増加しました。

検査部では、上記検査全般を範囲として、臨床検査の国際規格「ISO15189:2012」認定を取得・維持しております。

病院理念である「すべての患者さんに安心を」を提供できるよう、『一致団結し常に前進する検査のプロフェッショナル集団』をスローガンとし、日々臨床業務の向上に取り組んでおります。



消化器内科

Gastroenterology
and
Hepatology

当院の消化器内科は、令和4年度の診療報酬額において同規模17国立大学の中で1位を達成し、県内の高度医療の中核として活動しております。消化管出血、急性膵炎、胆管炎などの急性期消化器疾患のみならず、消化器癌や慢性疾患などを含む幅広い診療を行っており、入院患者数は年間約1600人、内視鏡処置件数は年間1200件となり、いずれも10年前の2倍に達しています。

特に、死因最多の悪性新生物の中で半数以上を占める消化器癌においては、臓器別の新しい予約システムを採用し、関連部門・診療科の協力のもと、患者さん一人ひとりに適した最先端の治療を提供しています。肝疾患においては、代謝機能障害関連脂肪肝疾患(MASLD)に対する低侵襲な発癌リスク層別化を行い、肝臓の最先端



治療であるマイクロ波焼灼術を導入しています。また、胆膵疾患においては最新の超音波内視鏡下胆道ドレナージを取り入れ、消化管疾患では早期がんの治療として多数の内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を実施しています。さらに進行癌に対しては、分子標的薬治療、腫瘍免疫療法を強化しています。

当院は今後も地域医療との連携を深め、皆様に信頼される医療を提供してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

栄養管理部

Department
of
Nutritional Management

栄養管理部は、「安全で信頼される給食一食を通して労りと優しさを提供する」をスローガンに掲げ、「患者さんのメリットとなるサービスの提供および治療効果が向上する栄養療法の推進」を指針として業務を進めています。

近年、問題視されている「食の安全」についても配慮し、化学添加物を含まない調味料の使用やアレルギー食材の不使用、食材の産地を考慮した「地産地消」などを心がけています。

さらに、医療(食)環境の向上として、腕の立つ板前が調理する普段の食事では味わうことができない選択メニュー、季節の食材をふんだんに用いた行楽弁当、幼児・学童食のお楽しみランチ、産科病棟での出産祝い膳を提供しています。今後も患者さんに「喜びと感動を与える食事」を提供し続けていけるよう、職員一同、一歩ずつ邁進していきたいと考えております。

また、入院・外来患者を対象とした「栄養指導」による患者教育、入院患者を対象とした入院前支援、病棟

訪問、ミールラウンドなどを随時行い、患者さんの入院環境の整備に努めております。今年度は、管理栄養士の病棟配置も開始し、入院診療の更なるサポートを目指します。



選択メニュー (一例)



出産祝い膳

そのほか、栄養サポートチーム(NST)、褥瘡、摂食嚥下および緩和ケアなどのチーム医療にも参画し、研究発表を通じて学術活動も積極的に推進してまいります。

今後とも栄養管理部をよろしくお願いいたします。

セミナー・講演会等のお知らせ

対象：医療従事者

開催名	主催	開催日	開催場所	お問合せ先 (内線番号)
第163回 日本小児科学会山梨地方会	日本小児科学会山梨地方会 他 共催	2024年9月28日	山梨大学医学部 臨床大講堂	内線 2322
第28回 山梨大学整形外科セミナー	山梨大学整形外科	2024年10月5日	アピオ甲府	内線 2348
第117回 日本泌尿器科学会山梨地方会	山梨大学医学部泌尿器科学講座	2024年10月12日	オンライン ホテル談露館	内線 2367
2024年度 患者安全推進地域フォーラムin山梨	認定病院患者安全推進協議会 (幹事病院：山梨大学医学部附属病院)	2024年10月14日 【申込期限】 2024年9月30日	山梨大学医学部 臨床大講堂	内線 3567

※上記セミナー・講演会へのお問合せは TEL:055-273-1111 (代表)へお掛けのうえ、お問合せ先の内線番号をお伝えください。

初期救急医療センター開所式を挙

初期救急医療センター長 森口 武史

令和6年5月17日に本学シミックホールにおいて、初期救急医療センター開所式を挙

行しました。初期救急は、本来、主に市町村単位で各医師会が担っており、休日・夜間急患センターの設置や在宅当番医制などにより地域で診療の空白が生じないよう運営されてきました。

しかしながら、「医師の高齢化」や「二次救急病院の過重負担」等により、山梨県の救急体制、特に初期救急が崩壊の危機に瀕していると危惧され、この現状に鑑み、持続可能な救急医療体制の整備を進めるべく、山梨県から新たな救急医療体制整備構想である「初期救急医療センター」開設の公式要請があり、本年5月17日より運用開始となりました。

開所式では、長崎幸太郎山梨県知事、山梨県救急医療事業推進委員会委員長である堀内茂富士吉田市長、鈴木昌則山梨県医師会長、本学中村和彦学長より挨拶があり、当院の木内博之病院長から経過報告とセンター長の紹介がありました。



挨拶する長崎山梨県知事



経過報告する木内病院長



森口初期救急医療センター長



テープカットの様子：左から、木内病院長、中村学長、鈴木医師会長、長崎山梨県知事、堀内委員長(富士吉田市長)、長田富也副委員長(道志村長)、望月中央市長

その後、来賓である樋口雄一甲府市長、金丸一元南アルプス市長、保坂武甲斐市長、山下政樹笛吹市長、望月智中央市長、塩澤浩昭和町長からご祝辞をいただいた後、当センターに場所を移し、テープカットを行いました。

当センターは、夜間における山梨県全域の初期救急医療のニーズに応えるべく、自力で来院可能な概ね16歳以上の患者さんに対し、18時から23時(受付は22時30分)まで「内科系」および「外科系」の医師2名で診療にあたる体制を整えております。

山梨大学医学部附属病院 初期救急医療センター

☎055-273-1122
(受付/18時~22時30分)

※受診の際は事前に電話連絡をお願いします。

山梨大学医学部附属病院 初期救急医療センター
<https://www.hosp.yamanashi.ac.jp/kyukyu/>